

3月議会 施政方針

第401回 市議会定例会 3月2日

平山耕三市長は、3月2日開会の第401回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「本年1月9日から2月16日まで、両目の急激な視力低下により入院治療を受けていました。両目の視力もほぼ回復し、2月19日より職場復帰を果たすことができましたが、この間、市政推進に多大なる影響をおかけしましたことに、まずもって、お詫び申し上げます。

そして、私の入院中に、吉川前副市長が官製談合防止法違反容疑により逮捕されるとともに、随意契約の不適切な執行がたびたびマスコミに取り上げられ、市民の皆様や関係者の皆様、多大なるご心配やご迷惑をおかけしました。入院中、本当に身にたまされる思いであり、市長としてお詫びを申し上げなければならぬという思いをずっと持っておりまして。さらには一昨日、このたびの事

件が、吉川前副市長の収賄容疑による再逮捕ということにまで発展することとなりました。

本当に南国市の信用失墜行為となりました今回の一連の事件につきまして、市民の皆様、関係者の皆様にお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

これを機会に、今まで長きにわたり続いてきました、随意契約の不適切な執行という悪しき習慣を見直し、市民の皆様にごきちんと説明責任を果たせよう改善するとともに、公務員倫理研修を行うこと等により法令順守の徹底を図り、市民の皆様のご信用を回復すべく取り組んでいきます。」と、この間の一連の出来事に関して陳謝いたしました。

30年度の主要な施策について、あらましを紹介します。

財政状況

健全な財務体質の確立

一般会計予算は、前年度比1億円増の207億7千万円となっております。歳入は、市税は前年度比約1千万円の増となっておりますが、地方交付税及び臨時財政対策債を地方財政計画を基に算出すると、合わせて前年度比約2億4千万円減の見込みとなり、不足する一般財源につきましては、財政調整基金から7億5千万円を繰入れていきます。歳出は、第4次総合計画に掲げた、5つのまちづくりの基本目標に対して、重点的に予算配分を行っています。これまでの行財政改革の方針を踏まえ、経常経費の節減を図るとともに、健全な財務体質の確立に向け、さらに改革に取り組んでいきます。

随意契約事務改善

随意契約では、業者選定の透明性確保と各業者からの見積書徴取を徹底するとともに、複数の工事を取りまとめた競争入札とすることや、業者別発注状況を財政課でも確認することにより、法令、規則に沿った公正な発注に努めます。

地域づくり事業

地域集会所等への補助制度を創設

地域づくり事業では、地域への人的支援の拡大も含めて取り組を進めるとともに、地域活動の支えの施策として、地域所々の集会所等を対象とした、建替え・修理等への新たな補助制度の導入を予定しています。

姉妹都市・岩沼市交流事業

姉妹都市提携45周年

姉妹都市・岩沼市との交流事業は、平成30年度に姉妹都市提携45周年を迎えます。市民訪問団の相互派遣などの交流事業につきまして、南国市姉妹都市親善協会と連携を図りながら、さらなる友好関係を築くことができるよう取り組んでいきます。

国民健康保険

4月から都道府県単位数

被保険者の年齢構成に伴う高い医療費水準や、低所得者層の割合の高さ等の構造的な課題を踏まえ、平成30年4月から国保の都道府県単位数が実施されます。

国保の算定方式を変更

国民健康保険の財政運営が高知県となり、国民健康保険税の標準的な算定方式として、3方式と呼ばれる方式が示されています。将来的に高知県全体で統一的な税率で財政運営が行われる見通しで、本市におきましても、3方式に算定方式を変更するため、南国市国民健康保険条例の一部を改正する条例を、今議会に上程しています。

少子化対策

特定不妊治療助成も開始

不妊治療に係る経済的負担の軽減策につきましては、平成28年7月より一般不妊治療に要する費用の助成を開始しておりますが、平成30年度からは、特定不妊治療費への助成も開始したいと考えています。

健康づくり

骨髄バンク事業への協力を支援

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する事業について、骨髄等を提供した市民の皆様へ奨励金を交付する制度を平成30年度から創設します。骨髄・末梢血幹細胞提供には1週間程度の入院・通院が必要ですが、有給休暇制度がない等の理由で断念する事例もあることから、一定の要件に該当する場合、奨励金交付により支援していきます。

子育て支援

第2子の利用者負担助成を拡大

就学前児童の教育・保育について、第2子以降の子どもにかかる利用者負担額の無償化を、国基準に基づき非課税世帯等で実施していきますが、平成30年度より市独自の施策として、同一世帯で2人以上の子どもが同時入所・入園する場合の第2子の利用者負担額を全額助成することで、子育て世帯の負担軽減を図ります。

放課後児童クラブ

増築整備を進めていた後免野田小学校あおぞら学童クラブが、3月中旬竣工予定となっており、平成30年度からは約40名の児童の受入ができる予定です。十市小学校なよし学童クラブは、平成30年度に第2学童クラブを新築整備し、利用希望者の受入拡大を進めます。

国営ほ場整備事業

3月末までに整備範囲を確定

17地区、約600ヘクタールの農地におきまして、関係地権者に対する仮同意徴集を昨年12月から開始し、事業への意思確認と3月末までの整備範囲の確定に向け、地元推進組織による仮同意徴集が進められていきます。今後は、この仮同意結果を基に、地元関係者と協議しつつ、国営事業の採択要件規模の確保と、整備範囲を確定させた後、平成31年度からの事業着手に向け、地元関係者や関係機関と協力し、詳細な整備営農計画等を検討するとともに、事業採択に必要となる事業計画書案の作成作業を進めます。

社会教育

中央公民館・大篠公民館の合築

中央公民館・大篠公民館の合築に向けまして、平成30年度は、設計、地質調査、用地測量等を行います。

介護保険

第7期の基準額を算定

南国市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定推進運営協議会におきまして、平成30年度から平成32年度までの高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を策定し、第7期の介護保険料の基準額案を5千300円と算定しました。算定にあたりましては、市の介護給付費準備基金を一部充てることにより保険料の上昇を抑えることとしています。

中心市街地活性化

拠点施設整備に取り組む

中心市街地活性化については、立地適正化計画の中で、都市機能誘導区域の誘導施設として位置づけている「まちおこしセンター」を、株式会社海洋堂の生産施設を含む「ものづくり」を通じて地域活性化の拠点施設として位置づけ、整備を進めます。「ものづくり」を通じた「ひとづくり」「まちづくり」を進めるため、関係団体及び関係機関と連携を図りつつ、本市の情報発信や、地域の機運醸成のための取り組みを進めます。

地籍調査事業

3地区で二筆地調査を実施

平成29年度末の進捗率は17.9パーセントとなる見込みで、平成28年度末の県全体の進捗率55パーセントと比べると、まだまだ遅れた状況です。平成30年度は、陣山地区、桑ノ川地区、十市地区の3地区で二筆地調査を実施するよう県に事業計画書を提出していますので、補助金交付決定があり次第、順次事業に着手します。

南国市都市計画マスタープラン改訂

平成30年度に策定

平成29年度に作成する全体構想案を基に、策定委員会など関係機関と協議調整を行い、各地域で開催予定のワークショップや説明会等を通じて住民意向を反映させながら改訂素案の作成を進め、平成30年度の策定に向けて取り組みます。

都市計画道路

高知南国線第3工区の用地交渉を開始

都市計画道路高知南国線第2工区及び南国駅前線第2工区は、引き続き、早期の整備完了

篠原土地地区画整理事業

本格的な埋蔵文化財調査に着手

平成30年度内の工事着手に向け、本格的な埋蔵文化財調査と埋蔵文化財調査を行います。県により整備が進められています都市計画道路高知南国線篠原工区においても、埋蔵文化財調査及び工事が開始されており、両事業が円滑に進むよう、今後とも、県と協議を行いながら協力して事業に取り組めます。

立地適正化計画

平成30年度早期の計画公表へ

平成28年度から策定に向けて取組を続けています南国市立地適正化計画に關しまして、当初、平成29年度内に居住誘導区域の計画を策定し、全体版を公表する予定でしたが、国との協議に不測の日数を要したことにより、策定を平成30年度に先送りしますが、早期の計画公表に向けて取り組みます。